

学年・教科：5年 国語

単元名： 伝えられてきた文化 「古典芸能」 ～語りで 伝える～

時	活動	成果・子どもたちの様子	備考
1	本文の音読 本文の内容に関するクイズ しぐさクイズ	宿題にもなっていたので 皆が率先して 読もうとした。 読んできているので 手を挙げていた。 教科書の「しぐさ」をまずやってから、自分達で「しぐさ」を考えた	普段から本文を元にした「問いづくり」には慣れている せんすや手ぬぐいが家にはない生徒が数人いる
2	古典小噺をやってみる	古典小噺の内容を理解する。 キャラクターや状況の設定 座布団の上に正座することお辞儀をすることなども練習	英語の訳は載せておく 正座することがない生徒が多い
3	自分で考えた小噺をやってみる	日本語の面白さを生徒同士で話していた 発表することで「終点」が見えていて良い	
<p>&lt;伸ばせた力、子どもの変化、保護者の反応など&gt;</p> <p>人前で発表することには 慣れていたが、カメラで撮影されることに抵抗があった生徒がいたが、最後は気にもしていなかった。</p> <p>動画で撮られることをとても意識している生徒が多く、自分が考えた内容を発表するために何度も練習していた。</p> <p>いつもより仲間のオリジナル小噺を理解しようと分からないことははっきりと質問もしていた。</p> <p>家庭内の会話が「落語・小噺」の内容が多くなったと保護者から言われた。</p>			
<p>&lt;所感&gt;</p> <p>動画にとることの意味を深く感じた。今後は時々授業の動画を撮ることで「生徒自身」の態度も変わるが、教員も振り返りができるので良いと思う。</p> <p>週に3時間しかない補習校で、国語の時間は週1時間のみ。それでも、興味をもたせると 何か出来上がることを生徒自身が感じてくれた。</p> <p>みんなで集まる補習校だからこそできる体験を増やすことで日本語力を伸ばしていける気がした。</p>			